

43社から128人

群馬建協ら新入社員研修

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県建設産業団体連合会（同）の2023年度新入社員研修会が前橋市の群馬建設会館で12日から始まった。写真。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、13日を加えた2日間に分けて開催する。合計で43社128人が社会人の基礎知識を学ぶ。



青柳会長は冒頭、「研修会は今年で10年目になる。社会人として必要な知識・マナーを習得し、一日も早く建設業界の第一線で活躍する人材になっていただきたい。大切なことは常にスキルアップし続けることだ。そのための第一歩だと思って臨んでほしい」とあいさつした。

研修会では、建設経営サービスの森田哲也氏が「建設業に関する基礎知識」、行政書士の飯塚重紀氏が「社会人として知っておくべきマナーの基本」をテーマに講演した。イメージアップコンサルタントの田中アイ氏によるスキルアップセミナーも開いた。

スキルアップ 続ける第一歩に

群馬建協ら新入社員研修会

群馬県建設業協会（青柳剛会長）、群馬県建設産業団体連合会（同）は12日、前橋市の群馬建設会館で会員企業の2023年度新入社員研修会を始めた。写真。43社の128人が12、13日の2回に分かれ、建設業の基礎知識やビジネスマナーなどを学ぶ。研修会は今年で10年目。東日本建設業保証群馬支店が協力している。

冒頭あいさつした青柳会長は「皆さんに心からお祝い申し上げます」と各社の新入社員を歓迎した。その上で「社会人になって何が大切かと言えば、常にスキルアップし続けること。今日はそのため第一歩の研修会とあって臨んでほしい」と述べた。群馬建設会館は竣工4年目の建物で、「おしゃれでスタイリッシュなデザインの会館での研修は気持ちよく働くことのでき



る環境を実感できる。この感覚こそものがづくりが持つ『建築のチカラ』だということを経験してほしい」とも話した。

研修は建設経営サービスの森田哲也氏、ファイナンシャルプランナーの飯塚重紀氏、イメージアップコンサルタントの田中アイ氏が講師を務めた。森田氏は建設業の役割や実務、安全管理の基本などの講義を行った。飯塚氏は「マネーの基本」と題して貯蓄、投資、税金などのポイントを紹介した。田中氏は人の印象やコミュニケーションの大切さなどを伝えた。

協連
建産
群馬
県

2日間で130人参加

新入社員研修会を開催

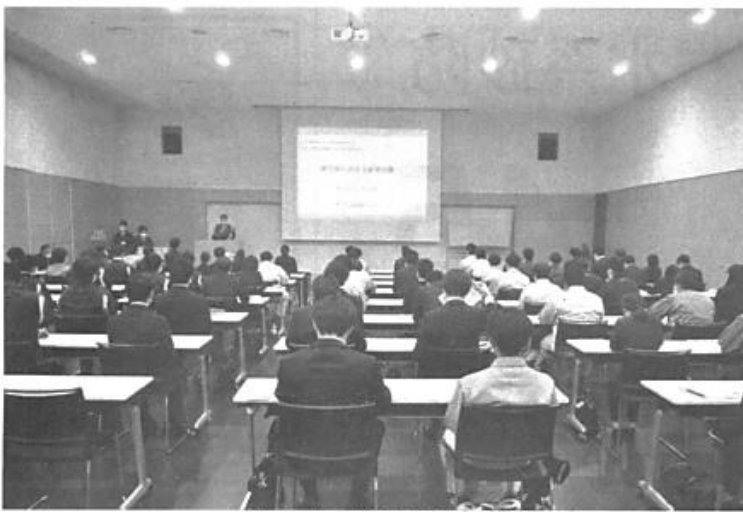


青柳会長

の実施となり、延べ127人が参加する。建設業に関する基礎知識や知っておくべきマナーの基本を丁寧に学んだ。

青柳会長は「この研修会もちょうど10年目に入る。社会人として必要な知識・マナーを習得し、一日も早く建設業界の第一線で活躍される人になってもらうことが目的。きょうはその第一歩となる研修会だと思っほしい。同業他社の人たちともコミュニケーションをしっかりと図り、心に残る有意義な研修会になることを期待している」と参加者に対して呼びかけた。

研修会は、建設業に関する基礎知識やマナーの基本、新入社員のスキルアップセミナーを内容として実施。参加者は研修を受けるだけでなく、講師の紹介など運営にも加わり、社会人としての基礎を学んだ。



社会人の基礎を学んだ

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県建設産業団体連合会（同会長）は12日、新入社員研修会を開催した。新型コロナウイルス対策として12日と13日の2日間に分けて